

様式中の青字の記載要領は、記載時に削除してください。  
太字下線は昨年度からの主な変更点です。

〇〇(バイオコミュニティの名称)

〇〇(ネットワーク機関の名称)

# 様式一覧(目次)

I～IVのページ番号を記載してください。

<b>I. 地域バイオコミュニティの全体構想</b>	・・・ ○ページ
1. 対象とする市場領域	
2. コミュニティの現状と課題	
3. コミュニティのあるべき姿	
<b>II. 地域バイオコミュニティの推進体制</b>	・・・ ○ページ
1. 組織構成と役割分担	
2. ネットワーク機関の取組	
3. ○○ (主体の名称) の取組 【○○ (主体の分類) 】 (以降、必要に応じて主要な構成主体の取組を追加)	
<b>III. 地域バイオコミュニティの実施計画</b>	・・・ ○ページ
1. あるべき姿の実現に向けた具体的な方策	
2. データの共有・利活用の方針	
3. 実施計画工程表	
<b>IV. 参考資料</b>	・・・ ○ページ



# 地域バイオコミュニティの全体構想

# 1. 対象とする市場領域

「バイオ戦略2019」において設定した4つの社会像と9つの市場領域

## < 社会像 >

すべての産業が連動した  
循環型社会

多様化するニーズを満たす  
持続的一次生産が  
行われている社会

持続的な製造法で  
素材や資材をバイオ化  
している社会

医療とヘルスケアが連携した  
未永く社会参加できる社会

## < 市場領域 >

- |   |   |   |
|---|---|---|
| ① | <b>高機能バイオ素材（軽量性、耐久性、安全性）</b><br>とりまとめ省庁：経済産業省                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>軽量強靱なバイオ素材市場の拡大が予測</li> <li>素材技術・利用領域（車等）に強み</li> </ul>                          |
| ② | <b>バイオプラスチック（汎用プラスチック代替）</b><br>とりまとめ省庁：経済産業省                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>海洋プラスチックごみによる環境汚染等が世界的課題</li> <li>プラスチックの適正処理・3Rのノウハウ等に強み</li> </ul>             |
| ③ | <b>持続的一次生産システム</b><br>とりまとめ省庁：農林水産省                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>急成長するアジア・アフリカの農業生産性の向上が課題、食ニーズ拡大</li> <li>世界レベルのスマート農業技術等に強み</li> </ul>          |
| ④ | <b>有機廃棄物・有機排水処理</b><br>とりまとめ省庁：経済産業省                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>アジア等の成長により廃棄物処理・環境浄化関連市場の拡大が予測</li> <li>世界最高レベルの廃棄物・排水処理に強み</li> </ul>           |
| ⑤ | <b>生活習慣改善ヘルスケア、機能性食品、デジタルヘルス</b><br>とりまとめ省庁：経済産業省               | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病増加。健康関連市場が拡大。デジタルヘルスに各国が着目</li> <li>健康長寿国である健康データに強み</li> </ul>             |
| ⑥ | <b>バイオ医薬・再生医療・細胞治療・遺伝子治療関連産業</b><br>とりまとめ省庁：健康・医療戦略室            | <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオ医薬品等の本格産業化と巨大市場創出が期待</li> <li>伝統的基礎研究基盤、細胞培養技術に強み</li> </ul>                  |
| ⑦ | <b>バイオ生産システム&lt;工業・食料生産関連（生物機能を利用した生産）&gt;</b><br>とりまとめ省庁：経済産業省 | <ul style="list-style-type: none"> <li>生物機能を利用した生産技術が米国を中心に急成長中</li> <li>微生物資源・生物資源、発酵技術に強み</li> </ul>                  |
| ⑧ | <b>バイオ関連分析・測定・実験システム</b><br>とりまとめ省庁：経済産業省                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオ産業の基盤として、大幅拡大が期待</li> <li>先端計測技術、ロボティクス等要素技術に強み</li> </ul>                    |
| ⑨ | <b>木材活用大型建築、スマート林業</b><br>とりまとめ省庁：林野庁                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>木造化は温室効果ガス削減効果が高く、欧州、北米中心に着目</li> <li>スマート林業に将来性、木造建築技術、美しい設計、施工管理に強み</li> </ul> |

9つの市場領域の中から、バイオコミュニティの活動を通じて拡大を目指すものを左側の赤矢印により選択（記載例では⑤と⑥）してください。複数を選択することも可能です。選択に際しては、4つの社会像との関係にも留意してください。

## 2. コミュニティの現状と課題

バイオコミュニティとしてのポテンシャルや成熟度を客観的に測定できるよう、可能な限りデータ・指標等を盛り込みながら、現状と課題について記載してください。

他の地域と比較するなど競合相手も意識しつつ、特に

- 対象とする市場領域の動向の分析
- 市場領域の拡大に向けて生かすべき、世界で通用しうる「強み」となる科学的基盤又は産業的基盤（地場産業を含む。）の分析
- 研究開発から事業化までのイノベーション・エコシステムやバリューチェーンの分析

については、必ず含めてください。

2枚程度を目安に作成してください。

### 3. コミュニティのあるべき姿

国の政策上、バイオコミュニティの形成を通じ、①バイオファースト発想が根付き、②ヒト・モノ・カネの好循環が持続し、③バイオによる持続可能で強靱な循環型コミュニティ・健康的に暮らせるコミュニティが日本全国に定着している姿を目指していることに鑑み、地域において、これら①～③の特徴をどのように実現するかを意識しながら、あるべき姿について記載してください。

2030年に世界最先端のバイオエコノミー社会を実現するという「バイオ戦略」の全体目標に資するよう、現状のデータや持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえ、2030年に向けた目標・指標を設定してください。

特に経済成長への貢献（市場規模・雇用・生産性等）及び社会課題解決への貢献（脱炭素やプラスチック削減といった**SDGsの達成や循環社会への移行の状況、パンデミックや自然災害の対策等**）に関する目標を盛り込み、今後のビジョンをバイオコミュニティ内外に共有できるものとするに留意してください。

2枚程度を目安に作成してください。



# 地域バイオコミュニティの推進体制

# 1. 組織構成と役割分担

バイオコミュニティを構成する上で必要十分な主体の存在及びそれらの間の連携が見えるよう、適宜図を含め、組織構成と役割分担の全体像を記載してください。

その際、バイオコミュニティとして研究開発から事業化までのバリューチェーンをどのように構築するか、また、世界から注目を集めるポテンシャルのある主体をどのように機能させるかに留意してください。

必ずしもすべての主体が地域内にある必要はなく、地域外の主体との密接な連携の確約があれば、それが分かるように記載してください。2枚程度を目安に作成してください。



## 2. ネットワーク機関の取組

ネットワーク機関について、以下の（１）～（３）を記載してください。  
2枚程度を目安に作成してください。

### （１）活動意義

組織としてバイオコミュニティの活動に参画し、Ⅱ 1 の役割を果たすことは、ネットワーク機関にとってどのような意義を有するか、例えば自治体であれば首長の方針との整合性、大学であればそのミッションとの整合性を示すなどにより記載してください。

### （２）必要な機能と取組

Ⅱ 1 の役割を果たすため、ネットワーク機関が実際に提供しようとする機能と、それに向けて講ずる取組（国や自治体からの予算措置に基づき実施しているものを含む。）を記載してください。

その際、「バイオコミュニティの形成に関する基本的考え方」の9ページに示す「機能」（バイオコミュニティ内の調整を担い、構成主体間の連携を促進し、地域の発展やブランド力の向上に向けた取組を推進。海外も含め関係構築の窓口として認知され、有効に機能。）を参考にしてください。

また、ネットワーク機関が自治体である又はネットワーク機関に自治体が含まれる場合には、市場領域の拡大やバイオコミュニティの形成に資する支援事業及びその総予算額も記載してください。

### （３）リソースと実績

#### ①体制・キーパーソン

#### ②施設・設備等

#### ③これまでの実績

ネットワーク機関が上記機能を担い取組を実行する能力を有することが分かるよう、①～③を記載してください。

①では、ネットワーク機関における、担当者数をはじめ人的リソースを含めた体制に加え、バイオコミュニティの活動に携わるキーパーソン（活動の顔となる人物、活動をリードする人物、組織としてのコミットメントを確実にする人物等）について記載してください。

②では、市場領域の拡大やバイオコミュニティの形成に資する研究開発や製造実証の観点から、ネットワーク機関における施設・設備等の保有状況とともに、それらを多様な主体の共用に供するなどの活用状況について記載してください。なお、特にそういった施設・設備等を保有していない場合には、その旨記載してください。

### 3. ○○(主体の名称)の取組【○○(主体の分類)】

ネットワーク機関以外の、バイオコミュニティの骨格を担う主要な構成主体について、主体ごとに以下の(1)～(3)を記載してください。主体の分類については、「バイオコミュニティの形成に関する基本的考え方」の9ページに示す「構成主体」を参考にしてください。主体ごとに1～2枚程度を目安に作成してください。

#### (1) 活動意義

組織としてバイオコミュニティの活動に参画し、II 1の役割を果たすことは、当該主体にとってどのような意義を有するか、例えば自治体であれば首長の方針との整合性、大学であればそのミッションとの整合性を示すなどにより記載してください。

#### (2) 必要な機能と取組

II 1の役割を果たすため、当該主体が実際に提供しようとする機能と、それに向けて講ずる取組(国や自治体からの予算措置に基づき実施しているものを含む。)を記載してください。

その際、「バイオコミュニティの形成に関する基本的考え方」の9ページに示す「機能」を参考にしてください。

また、当該主体が自治体である場合には、市場領域の拡大やバイオコミュニティの形成に資する支援事業及びその総予算額も記載してください。

#### (3) リソースと実績

##### ①体制・キーパーソン

##### ②施設・設備等

##### ③これまでの実績

当該主体が上記機能を担い取組を実行する能力を有することが分かるよう、①～③を記載してください。

①では、当該主体における、人的リソースを含めた体制に加え、バイオコミュニティの活動に携わるキーパーソン(活動の顔となる人物、活動をリードする人物、組織としてのコミットメントを確実にする人物等)について記載してください。

②では、市場領域の拡大やバイオコミュニティの形成に資する研究開発や製造実証の観点から、当該主体における施設・設備等の保有状況とともに、それらを多様な主体の共用に供するなどの活用状況について記載してください。なお、特にそういった施設・設備等を保有していない場合には、その旨記載してください。



# 地域バイオコミュニティの実施計画

# 1. あるべき姿の実現に向けた具体的な方策

I 2の現状と課題から見てI 3のあるべき姿を実現するために必要な取組について、以下の切り口の例を参考に、2030年に向けた具体的な方策を記載してください。

(例) 潜在的なプロジェクトの発掘・推進、異分野融合、共同研究の推進、知的財産のマネジメント、人材育成、コミュニティ間の連携、人材・投資の呼び込み、情報発信、社会受容性の向上、バリューチェーンの構築・強化、協調領域・競争領域の設定  
その際、市場領域ロードマップや国の各種施策等との関連性を明らかにし、今後のビジョンをバイオコミュニティ内外に共有できるものとするに留意してください。あわせて、該当するものがあれば、バイオコミュニティ内で実施されている国の関連施策一覧を参考として付けてください(次ページ参照)。

なお、具体的な方策のうち、データの共有・利活用に関するものについては、Ⅲ 2に詳細を記載してください。関連施策一覧を含めず、3枚程度を目安に作成してください。

# 【参考】コミュニティ内における国の関連施策一覧

バイオコミュニティ内で実施されている国の関連施策について、件数が多い場合には主要なものを抜粋しつつ、記載してください。適宜行を追加してください。

施策名	所管省庁	実施者	施策概要	実施期間	予算額
〇〇事業	〇〇省 施策を所管している省庁を記載してください。	〇〇大学 事業の採択先など施策を 実際に実施している主体を 記載してください。	〇〇 実施者の取組内容を中心 に記載してください。	〇〇年〇月 ～〇〇年〇月 実施者における実施期間 を予定を含め記載してくだ さい。	〇〇千円（〇〇年度） 実施者への予算配分額を 記載してください。切り分け ができない場合には、内数 表記としてください。

## 2. データの共有・利活用の方針

バイオコミュニティにおけるデータの共有・利活用を促進する仕組みの整備に取り組むことが分かるように記載してください。  
申請時点で仕組みが既に確立している必要はなく、デジタル社会の実現に向けた国の取組を踏まえながら進めることに留意してください。  
1枚程度を目安に作成してください。

### 3. 実施計画工程表

Ⅲ 1 の具体的な方策、Ⅲ 2 の方針及び I 3 の目標・指標のエッセンスをまとめ、2030年までの工程表を作成してください。最終的には「経済・社会インパクト」につながるよう、下段から上段に向かうバリューチェーンを意識しながら項目を設定してください。今後のビジョンを共有し、人材・投資の呼び込み等につなげ、目標を達成するストーリーが予見できるようにすることに留意してください。一覧性を確保する観点から、1枚を目安に作成してください。

	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
経済・社会 インパクト			○○の生産性の○%向上			アウトカムを念頭に、 I 3 の目標・指標と 整合するように記載		○○に関する○円の市場規模の達成、 ○人の雇用創出		
			○○が可能な○○の普及			○○の○%削減による ○○への貢献				
	Ⅲ 1 の具体的な方策（「切り口の例」を含む。）や Ⅲ 2 の方針に基づき、左側の欄に項目を設定									
○○	○○の準備			○○の調査分析			○○の取りまとめ			



## 参考資料

提案内容を補足又はPRする観点から、必要に応じて参考資料を添付してください。  
ただし、全体の簡素化を図るため、分量は多くとも10枚程度としてください。